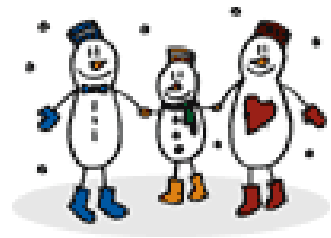


相談室だより (米の山) 2009年12月

担当：米の山病院 MSW 渡辺

12月に入り寒くなってきましたが、みなさんは風邪などひかれていないでしょうか？
さて今回の相談室だよりは、12/17に行なわれた「生活・健康・労働」相談会について書いていきたいと思います。



「生活・健康・労働」相談会を開催

12月17日(木)に八ローワーク横の駐車場で第14回目の「生活・健康・労働」相談会が行なわれました。当日は小雪が舞うあいにくの天気でしたが、寒い中で親仁会職員をはじめ、建交労や福建労、不知火合同法律事務所のスタッフが無料で相談会を開催しました。また血圧測定や血糖測定、血管年齢測定や骨密度測定など健康チェックもあわせて行ない多くの方が健康チェックを受けられていました。

相談内容としては、「失業してしまい生活費のために借金をかかえてしまった」「仕事をしたくても仕事がないので途方に暮れている」などの声が聞かれました。それ以外にも「22年間勤務していた会社からリストラにあい、もうどうでもよくなり毎日酒ばかり飲んで生活しているため、現在アルコール性肝炎になってしまった」などの相談もあり橋口院長などが対応しておられました。

今回この相談会に初めて参加された職員からは、「相談者の本当に切実な悩みを聞くことができ、どうにかしないといけないと強く感じたと同時によい経験ができた」などの意見がだされてきました。寒いなかで相談者と並んでみんなで炊き出しの「ぶた汁」を食べながら、ほんの少しだけ心と体があたたまりました。



「継続は力なり」

昨年からの非正規雇用労働者の派遣切りに始まり、現在では正規雇用労働者までもがリストラされています。先日行なわれた医療介護活動・運動交流集会で記念講演をしていただいた湯浅誠さんが事務局長を務める「NPO法人自立生活サポートセンターもやい」の年越し派遣村(08年度)は、マスコミにも取り上げられ、みなさんの記憶にもあると思いますが、なんとこの無料「生活・健康・労働」相談会は今回で14回目を数えることになりました。マスコミに取り上げられるずっと以前から、このような取り組みを行なってきたことは、今後の医療活動を行なっていくうえで、自信につながっていくと感じています。私はまだほんの数回しか参加していませんが、地域に根ざした医療を行なううえでとても重要なことと思います。この取り組みを20回・30回と今後も継続して行くことが必要です。まだこの取り組みを知らない職員や参加したことのない職員は、是非一度体験してみるといいのではないのでしょうか。



「生活・健康・労働」相談会アンケート結果

アンケート配布	123 枚
アンケート回収	38 名
男性	29 名
女性	9 名
健康相談	23 名
聞き取り相談	6 名

相談内容	
健康相談	2 名
サラ金相談	1 名
労働・解雇相談	2 名
弁護士相談	1 名

年齢 ()内は女性	
20 代	4 名(1 名)
30 代	4 名(1 名)
40 代	11 名(1 名)
50 代	12 名(4 名)
60 代	6 名(2 名)
無回答	1 名

失業中の生計(複数回答)	
失業給付	21 名
預貯金切り崩し	10 名
家族収入	11 名
アルバイト収入	2 名
その他	3 名

現在の健康状態	
健康	27 名
健康ではない	10 名

健康保険証を持っている	31 名
持っているが保険料滞納	1 名
持っていない	5 名



インフルエンザが流行っています。みなさん手洗い、うがいを忘れずにね。

今年も地域医療連携懇親会を行います。2/12(金)を予定しています。年末の挨拶回りと参加の集約を現在行なっている最中です。

生活保護世帯の母子加算が復活することになりました。来年度の予算にも是非入れてもらいたいものです。できれば老齢加算の復活もお願いしたいものです。

今年も1年が終わります。Merry Christmas & Happy New Year
来年も相談室だよりをよろしくお願いします。
それではみなさん良いお年をお迎えください。



1月号へ続く